

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子1回戦

主審 大久保 好純

副審 池ノ上 修

福大大濠 110

(福岡1位) ○

36	—	21
25	—	14
22	—	17
27	—	31
—		

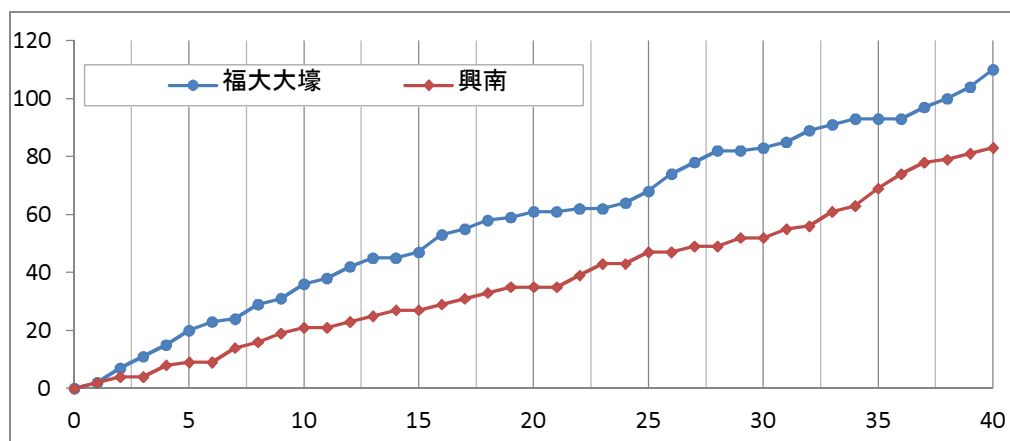
83 興南

● (沖縄2位)

No. 20A3

日時: 2015年6月20日(土) 12:00

会場: 鹿児島アリーナA3



福大大濠

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 牧 隼利 (C)	7	0	3	1	1
5	* 西田 優大	11	3	0	2	0
6	* 中村 太地	34	0	10	14	3
7	堀川 裕作	4	0	1	2	1
8	青木 亮	4	0	0	4	3
9	* 増田 啓介	14	0	6	2	2
10	山内 康平	—	—	—	—	—
11	鍵富 太雅	5	0	2	1	1
12	立野 友也	7	1	2	0	2
13	渡嘉敷 直輝	14	2	2	4	3
14	児玉 修	6	0	2	2	1
15	* 井上 宗一郎	4	0	1	2	1
コーチ 片峯 聡太						
合計		110	6	29	34	18

興南

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	与那 奎太	0	0	0	0	2
5	玉代勢 貴太	4	0	2	0	1
6	儀間 晴海	7	1	2	0	3
7	* 喜納 昌也 (C)	7	1	0	4	4
8	* 野原 暉央	20	0	9	2	4
9	工藤 壘	0	0	0	0	2
10	平田 大樹	5	0	2	1	0
11	* 大田 徳弥	16	0	6	4	4
12	名城 正真	4	0	1	2	4
13	* 島尻 玲央	14	2	4	0	4
14	仲嶺 諒	4	0	2	0	4
15	* 伊野波 伸飛	2	0	0	2	1
コーチ 井上 公男						
合計		83	4	28	15	33

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

福大大濠、興南ともにマンツーマンDefでスタート。興南の激しいDefが続く中、大濠#6中村のバスカン、#9増田、#4牧の2Pで差を広げる。興南も#6儀間のミドルシュートなどで食らいつくが、大濠#5西田の3Pで18-8とし、固いDefで興南の得点を許さない。興南もチャージングを誘うDefで粘りを見せるが、大濠はフリースローで得点を重ねる。興南#7喜納の積極的なドライブ、#13島尻の3Pで食い下がるも、大濠も#12立野の3Pなどあわてなかった大濠が36-21と15点リードで第1Qが終了した。第2Qもマンツーマンでの立ち上がり。興南の激しいDefにも大濠#9増田の2P、#15井上のバスカンで20点差に広げ大濠ペースで始まる。興南もタイムアウト後、興南#11大田から#8野原への合わせで得点するなど粘りを見せる。残り7分、興南の流れを断ち切るかのように大濠がタイムアウト。大濠#5西田の連続3Pなどで55-29と差を広げた。興南は2度目のタイムアウトで流れを引き戻そうとするも、お互いインターセプトの応酬で結局61-35の大濠26点リードで前半が終了。後半もお互いタイトなマンツーマンDefでスタート。両チーム1分間得点なしで進む。興南はオールコートあたり、興南#11大田の3P、#8野原のバスカンでリズムをつくるが、大濠#6中村の冷静なプレイでフリースロー6本を含む連続10得点などで、第3Qを83-52と差をさらに広げて終えた。最終第4Qは興南が意地を見せる。高い位置からのDefでプレッシャーをかけ、興南#11大田が14点をあげる活躍、一気に差を詰めようと奮闘するも、大濠#13渡嘉敷の3Pなどで落ち着いて得点を重ねた大濠が110-83で勝利した。興南の激しいプレッシャーにあわてなかった大濠のオフェンスが上回った結果となった。

記載者

佐々木 徹

(所属)

鹿児島県バスケットボール協会

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子1回戦

主審 柿原 実
副審 石嶺 良方

有田工業 70

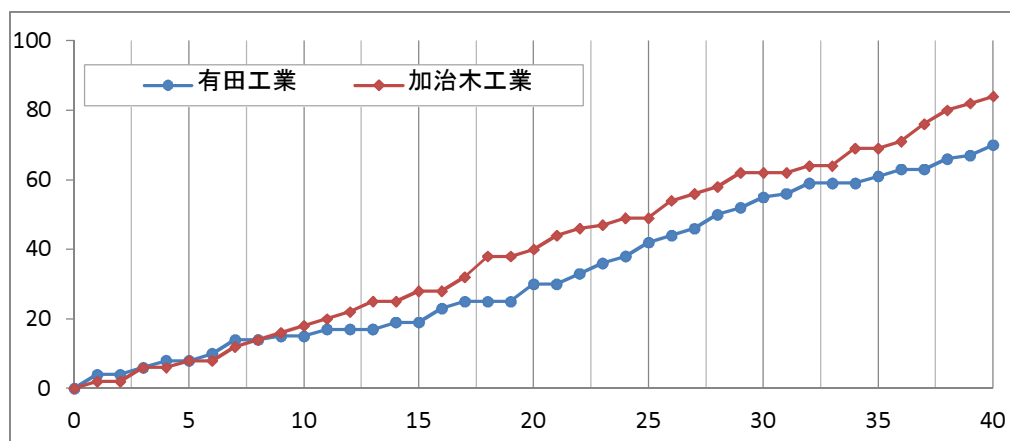
(佐賀1位)

15	—	18
15	—	22
25	—	22
15	—	22
—		

84 加治木工業

○ (鹿児島2位)

No. 20B3 日時: 2015年6月20日(土) 12:00 会場: 鹿児島アリーナB3



有田工業

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 秀島 圭祐 (C)	2	0	1	0	0
5	* 稲富 隆星	6	1	1	1	0
6	林 亮太	2	0	1	0	0
7	* 青木 光	21	0	7	7	2
8	* 原口 晃太	9	0	3	3	1
9	* 福田 蓮	5	0	2	1	2
10	青木 希	3	0	1	1	0
11	久地石 優	-	-	-	-	-
12	永田 京平	-	-	-	-	-
13	多久島 惇史	0	0	0	0	2
14	中島 永遠	22	3	6	1	0
15	栗田 悠佑	-	-	-	-	-
コーチ 熊本 陽						
合計		70	4	22	14	7

加治木工業

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 川ノ上 祐旗 (C)	5	0	2	1	2
5	* 上野 真志	21	3	6	0	2
6	松下 敦信	0	0	0	0	1
7	堂脇 大輔	2	0	1	0	0
8	白濱 隆成	0	0	0	0	0
9	福盛 雄太	2	0	1	0	2
10	* 金丸 恭平	24	0	11	2	2
11	立山 瑠生	4	0	2	0	4
12	萩原 聖也	0	0	0	0	3
13	* 家村 仁	4	0	2	0	0
14	* 河井 竜	20	0	10	0	2
15	中村 源太	2	0	1	0	0
コーチ 鈴木 亮一						
合計		84	3	36	3	18

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

試合序盤はお互いにマンツーマンディフェンスでのスタートとなった。有田工業は外からドライブで中へ切り込んでいくのに対し、加治木工業はインサイドを起点にしリング下でのシュートを確実に決めていく。慎重な出だしとなった両チームともアウトサイドのシュートはリングに嫌われ、リバウンド勝負となる。リバウンド勝負は加工#10金丸#14河井の二人に対して有田工業はリバウンドの枚数を増やすことで対応し拮抗した勝負となった。加治木工業は積極的なディフェンスから相手のターンオーバーを誘い速攻を仕掛けるがミスが多く点数にはつながらず第一ピリオドは加治木工業3点リードで終了した。第二ピリオドに入り、加治木工業のディフェンスは一層激しくなりスティールからの速攻で点数を重ねる。加工#10金丸のバスケットカウントで7点差に広げられたところで有田工業はタイムアウトをとる。タイムアウト後、有田工業は2-1-2のゾーンディフェンスに替えインサイドの守りを固めた。その守りから有工#7青木がドライブに対して上手く合わせ3点差に詰め寄るも加治木工業の激しいディフェンスから加工#5上野の3連続速攻で再び差を広げられ、前半二度目のタイムアウトをとる。有田工業はリバウンドで踏ん張り強いプレーでファウルを誘い10点差まで詰め、前半を終了した。後半はお互いに前から積極的にディフェンスを仕掛けた。第三ピリオド残り5分になったところでこの試合初となる3Pを有工#14中島が決め勢いをつけたがなかなか点差は縮まらず7点差で第三ピリオドを終える。第四ピリオドでなんとか反撃に出たい有田工業は前から2-2-1のプレスなどで仕掛ける。お互いに決められたら決め返す、奪われたら奪い返す展開が続いたが加工#5上野の3P、ドライブインの連続ゴールで勢いにのった加治木工業がリバウンド勝負にも勝ち、14点差に点差を広げ直しゲームセットとなった。

No.	記者	平川 慎之介	(所属)	鹿児島県バスケットボール協会
-----	----	--------	------	----------------

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

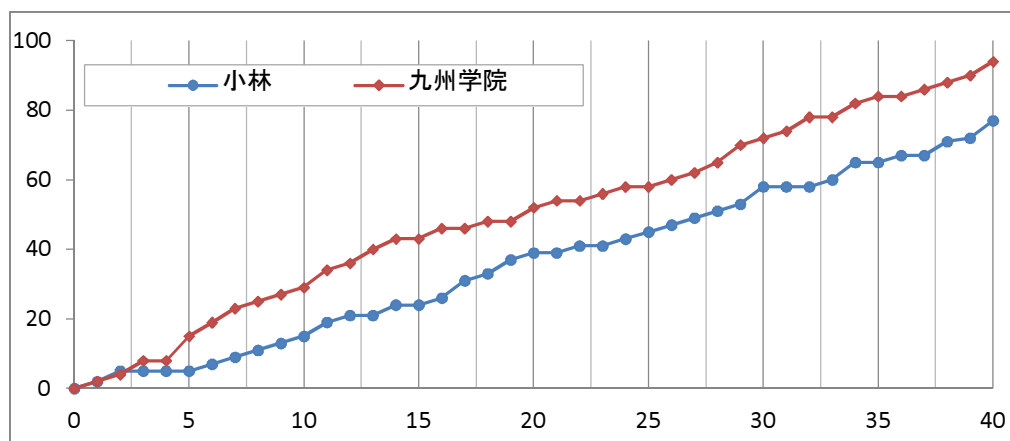
男子1回戦

主審 山崎 徳彦
副審 岡本 研一小林 77
(宮崎2位) ●

15	—	29
24	—	23
19	—	20
19	—	22
—		

94 九州学院
○ (熊本1位)

No. 20C3 日時: 2015年6月20日(土) 12:00 会場: 鹿児島アリーナC3



小林

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	中野 慎也	-	-	-	-	-
5	* 小川 真興	8	0	3	2	1
6	* 兒玉 大成	7	2	0	1	1
7	* 永野 智久 (C)	9	1	3	0	0
8	* 村角 健陽	18	0	9	0	5
9	伊藤 拓真	14	1	4	3	3
10	鳥飼 佑哉	0	0	0	0	0
11	村永 敦也	2	0	1	0	0
12	田中 源一朗	0	0	0	0	2
13	細瀧 拓利	-	-	-	-	-
14	* 根井 友彰	3	1	0	0	2
15	青山 晃也	16	0	6	4	4
コーチ 石川 祐二						
合計		77	5	26	10	18

九州学院

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 古家 凜	10	0	4	2	1
5	藤田 溪舟	1	0	0	1	2
6	* 永塘 哲生 (C)	23	1	10	0	4
7	川田 大起	2	0	1	0	1
8	* 野口 龍太郎	39	1	12	12	4
9	西嶋 駿輝	1	0	0	1	0
10	跡部 涼真	2	0	1	0	0
11	園部 毅	2	0	1	0	0
12	中村 隆志	0	0	0	0	1
13	前田 翔	0	0	0	0	2
14	* 西山 泰加	8	0	4	0	1
15	* 高野 雄登	6	0	3	0	2
コーチ 田中洋平						
合計		94	2	36	16	18

* …スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

九州学院、小林ともにマンツーマンでスタート。立ち上がりどちらも硬さが見られ、点を伸ばせない。3分すぎ、九州学院#8野口のバスケットカウント、#6永塘のタップシュートなどで連続で得点。小林はたまたまタイムアウト。流れを変えたい小林だったが、九州学院は#14西山の連続シュートで加点する。小林も#15青山のフリースローや#10鳥飼、#11村永のシュートなどで粘る。第1Qは29-15で九州学院がリード。

第2Qも互いにマンツーマンでスタート。九州学院が6連続得点したところで、小林がタイムアウト。#7永野の3Pや#9伊藤のバスケットカウントなどで差を詰める。しかし、九州学院もゾーンに変えリズムを崩させるなどし、#14の西山の3Pなどで追隨を許さない。一進一退の攻防となり、このクォーターは24-23。前半を終わって53-38で九州学院のリードで終わる。

第3Qに入っても互いに相手に流れを譲らない。小林#8村角や#15青山の速攻が決まれば、九州学院#8野口の力強いプレーで突き放す。九州学院がやや優勢に試合を進めるが、終盤小林#9伊藤の5連続得点で追いつく。3Qを終わって72-58。

第4Qに入っても、九州学院#4古家が連続でドライブを決めれば、小林#15青山が粘ってリバウンドを取り得点し、#6兒玉が3Pを決める。#12がリバウンドを奪えば、九州学院#6永塘がスティールで速攻を決める。

第2Q以降はほぼ互角の試合で、94-77で九州学院の勝利となった。

記載者 西元 晃一郎 (所属) 鹿児島県バスケットボール協会

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子1回戦

主審 原田 拓朗
副審 山口 憲昭

長崎日大 63

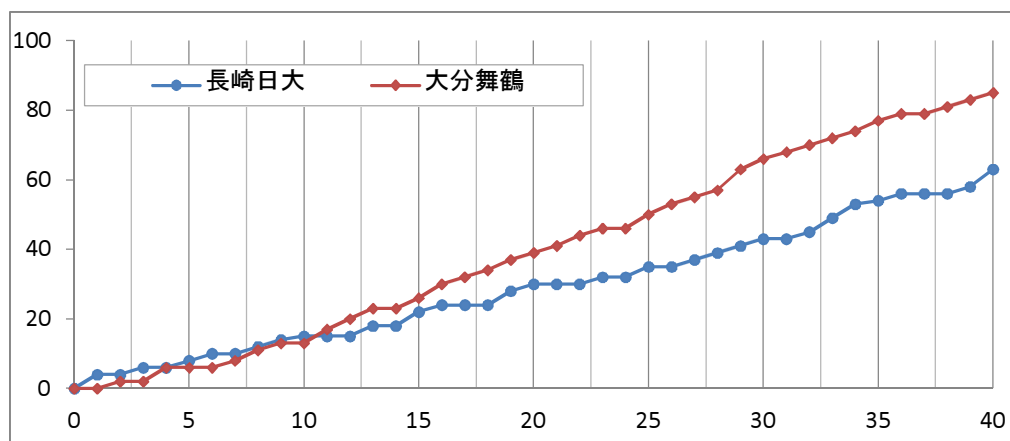
(長崎2位) ●

15	—	13
15	—	26
13	—	27
20	—	19
—		

85 大分舞鶴

○ (大分1位)

No. 20D3 日時: 2015年6月20日(土) 12:00 会場: 鹿児島アリーナD3



長崎日大

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 米須 楽人 (C)	12	0	6	0	0
5	吉谷 雄嗣	—	—	—	—	—
6	* 本郷 直也	14	1	4	3	2
7	久保田 諭	17	1	5	4	3
8	* 吉原 光晟	14	0	6	2	1
9	* 田中 智也	0	0	0	0	3
10	野口 拓馬	2	0	1	0	2
11	山田 三成	—	—	—	—	—
12	南 絢心	—	—	—	—	—
13	宮崎 蓮	0	0	0	0	0
14	関 亮太	—	—	—	—	—
15	* 馬場 悠希	4	0	2	0	3
コーチ 田代 秀憲						
合計		63	2	24	9	14

大分舞鶴

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 香川 泰斗 (C)	19	3	3	4	2
5	* スミス 安努隆	14	1	5	1	3
6	石川 智章	0	0	0	0	0
7	佐藤 淳哉	4	0	2	0	1
8	* 大宅 聡樹	7	1	2	0	0
9	長谷川 聖	0	0	0	0	1
10	吉良 知将	12	3	1	1	2
11	* 木下 碧人	8	0	4	0	3
12	泥谷 椋平	0	0	0	0	0
13	蠣原 弘太郎	6	0	3	0	0
14	* 赤嶺 充希	13	0	6	1	2
15	草本 凱斗	2	0	1	0	0
コーチ 齋藤 哲也						
合計		85	8	27	7	14

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

試合開始すぐに、日大#15馬場、#8吉原のシュートで先制した。舞鶴はオールコートマンツーマンで日大の速いパス回しからのオフェンスを止めようとする。舞鶴は#4香川のポストプレーやトップからの1on1を中心ににらみついていった。1クォーター最終スコアは15-13で日大がリードした。2クォーターはじめ、舞鶴#14赤嶺のシュートで勢いづき、開始1分後には逆転した。日大は#4米須のドライブを起点に、#7久保田のショットでなんとか追いつこうとする。ディフェンスリバウンドでアドバンテージをとった舞鶴は、#8大宅、#5スミス、#7佐藤を中心に点数を重ねていった。2クォーター最終スコアは30-39で舞鶴が逆転した。

後半は、舞鶴#14赤嶺のシュートで始まった。追いつきたい日大は#4米須のドライブからの展開で点数をとっていく。日大がオフェンスリバウンドをとれずに単発にオフェンスが終わっていく中、速攻やハーフコートオフェンスで舞鶴#8大宅の3Pや#11木下、#4香川のシュートで着実に点差を広げていった。3クォーター最終スコアは43-66で舞鶴が点差を広げた。第4クォーターはじめ、日大#7久保田のシュートが決まると、日大はオールコートプレスディフェンスに切り替えた。プレスディフェンスをする中で日大#4米須、#7久保田、#8吉原のシュートが決まっていくが、舞鶴は点数が止まる時間帯がなく、最終的には63-85で舞鶴が勝利した。

No.	記者	佐藤 留美	(所属)	鹿児島県バスケットボール協会
-----	----	-------	------	----------------

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子1回戦

主審 神丸 一祐
副審 上山 正智

佐賀北 61

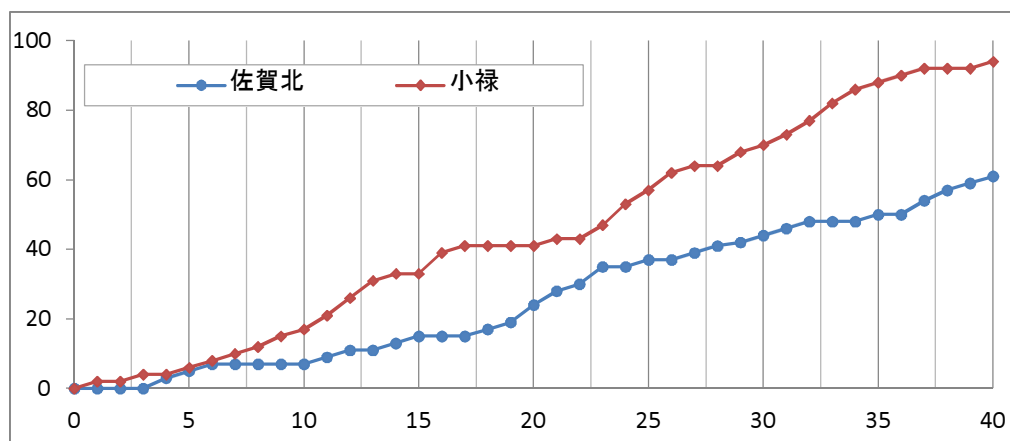
(佐賀2位)

7	—	17
17	—	24
20	—	29
17	—	24
—		

94 小禄

(沖縄1位)

No. 20A4 日時: 2015年6月20日(土) 13:30 会場: 鹿児島アリーナA4



佐賀北

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 横尾 卓巳 (C)	4	0	2	0	1
5	* 原口 裕章	21	0	10	1	2
6	* 波田 悠暉	16	0	7	2	0
7	下平 虎之介	-	-	-	-	-
8	本村 悠貴	-	-	-	-	-
9	武藤 寛明	1	0	0	1	0
10	山田 将司	-	-	-	-	-
11	川原 嘉仁	-	-	-	-	-
12	角田 太輝	4	0	2	0	1
13	難波 良伍	-	-	-	-	-
14	* 片渕 貴裕	15	0	7	1	2
15	* 松尾 達也	0	0	0	0	0
コーチ	溝口 陽介					
合計		61	0	28	5	6

小禄

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 森田 幸之助	8	2	1	0	2
5	* 金城 雄太	0	0	0	0	1
6	大城 直也	0	0	0	0	1
7	玉城 修平	0	0	0	0	0
8	儀間 真	16	4	2	0	1
9	古堅 勝利	0	0	0	0	2
10	比嘉 太	4	0	2	0	1
11	名嘉真 尚人	0	0	0	0	0
12	* 上良 潤起 (C)	31	0	15	1	3
13	* 大城 勝悟	7	1	2	0	1
14	宜志富 朝日	-	-	-	-	-
15	* 池田 祐一	28	1	12	1	2
コーチ	源古 隆					
合計		94	8	34	2	14

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

1st 両チームともにマンツーマンでスタート。両チームとも最初は3Pシュート、ミドルシュートを放るが、リングに嫌われ、点数がなかなか入らない。均衡を破ったのは、小禄。早い展開から攻撃をしかけ、小禄#15 池田がスクリーンプレイで他の選手を活かすプレイを徹底。また、小禄#12上良にボールを集めて、ゴール下でのマッチアップからバスケットカウントやゴール下のシュートで得点を重ねる。2nd 佐賀北ボールからスタート。開始早々、小禄#12上良にドリブルをスティールされ、そのままアップシュートを決められる。佐賀北T.Oを請求。佐賀北#4横尾のミドルシュートや佐賀北#12角田のオフェンスリバウンドで踏ん張り、佐賀北#14片渕が粘って得点につなげる。一方、小禄は、小禄#8儀間のミドルシュート、連続3Pシュートで猛攻を見せると、佐賀北2回目のT.O。佐賀北は交代も交えながら、流れを変えようと試みる。佐賀北#9武藤のドライブからパスを選択するが、シュートがリングに嫌われ、得点につなげられない。しかし、どうにか得点を離されないようにとルーズボールなど気迫のこもったプレイを見せる。3th, 佐賀北は#14片渕のミドルシュート、#5原口のバスケットカウントなどの連続得点から流れを引き戻す。しかし、小禄は、#15 池田、#10比嘉、#4 森田のシュートで応戦し、勢い止まらず、#15 池田のバスケットカウントや#4 森田の3Pシュートなどでさらに得点を重ねていく。4th, 佐賀北は、マンツーマンからゾーンディフェンスへ変更。小禄は、ゾーンディフェンスに対して、ボールを回してゆっくり攻め、得点を重ねる。佐賀北も最後まであきらめず、#6波田、#14片渕、#5原口のシュートで応戦したが、力及ばなかった。

記載者 有馬克仁 (所属) 鹿児島県バスケットボール協会

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子1回戦

東海大星翔 65

(熊本2位)

25	—	19
6	—	30
12	—	24
22	—	18
—		

91 延岡学園

○ (宮崎1位)

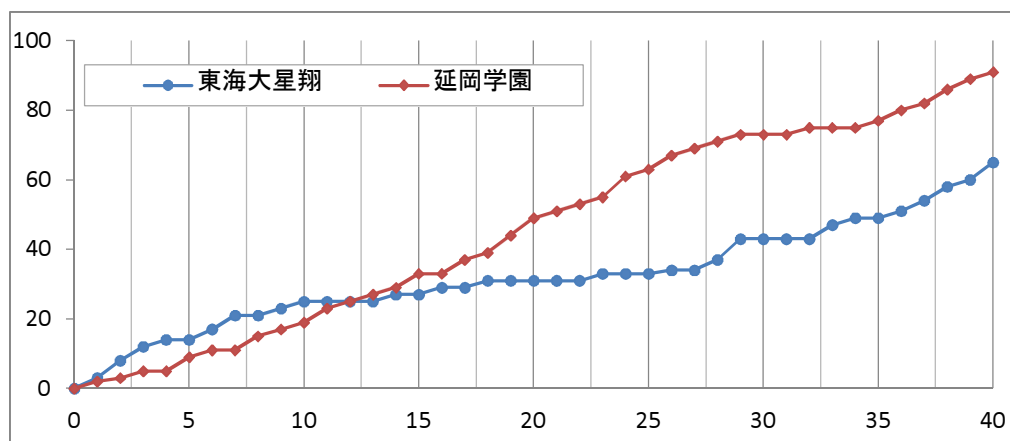
主審 寺田 祥

副審 坂元 孝浩

No. 20B4

2015年6月20日(土) 13:30

会場: 鹿児島アリーナB4



東海大星翔

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 中嶋 大地	16	0	7	2	2
5	那須 輝	0	0	0	0	0
6	* 中村 敬	0	0	0	0	1
7	* 趙 漢辰 (C)	15	1	6	0	3
8	* 元 炫竣	4	0	2	0	0
9	梅村 和生	5	1	1	0	0
10	* 前田 悠介	9	0	4	1	1
11	藤井 虎南	11	1	3	2	0
12	工藤 康祐	3	1	0	0	0
13	中村 魁斗	0	0	0	0	1
14	松尾 侯雅	2	0	1	0	1
15	石井 智大	0	0	0	0	0
コーチ 本郷 宏						
合計		65	4	24	5	9

延岡学園

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 石田 裕太郎 (C)	0	0	0	0	1
5	シェツラ ママドウ	14	0	7	0	0
6	* 山田 颯士郎	2	0	1	0	3
7	池浦 健太郎	13	0	6	1	2
8	* 田上 元己	6	0	2	2	0
9	加シ 竜平 ショーン	8	0	4	0	2
10	染川 昂	0	0	0	0	2
11	水谷 槇之介	0	0	0	0	0
12	五代 雅己	2	0	1	0	1
13	渡辺 新	9	1	3	0	1
14	* 榎田 拓真	16	0	7	2	0
15	* ディオップ マム シェツハイブラヒマ	21	0	10	1	1
コーチ 川添 裕司						
合計		91	1	41	6	13

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

1Q 両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。星翔#4中嶋のドライブからのバスケットカウントでゲームが開始する。その勢いのまま、星翔#7趙が延学#15ディオップに果敢に攻め込み、2P・3Pと連続で決めるなど一気に流れを引き寄せ、星翔14対5延学とする。延学も#6山田、#15ディオップの2Pなどで応戦。星翔は、時折2-3ゾーンディフェンスをませ、揺さぶりをかける。星翔は速攻からのミドルシュート、延学は1対1からのミドルシュートで加点を重ね、星翔25-19延学で1Q終了。 2Q 延学マンツーマン、星翔2-3ゾーンでスタート。延学は、パッシングから#15ディオップにボールを入れ加点。また、延学は星翔#7趙のピックアップを#15ディオップから#14榎田に変え、プレッシャーをかける。星翔は、ハーフコートオフェンスの得点が止まり、延学に連続得点を許す。その後も延学は、星翔のゾーンディフェンスに対し、#14榎田、#15ディオップの得点を重ね突き放す。2Q終盤まで延学の勢いが止まらず、星翔31対49延学で2Q終了。 3Q 延学は、#15ディオップに変えて#5シェツラを入れてスタート。また延学は、ディフェンスもオールコートゾーンプレスに変えプレッシャーをかける。これが見事に機能し、星翔はターンオーバーを連発してしまう。流れにのった延学は、リバウンドからの速攻も決まり始め、次々と加点していく。終盤、星翔も#12工藤の3Pなどで加点するが、延学の勢い止まらず、星翔43対73延学で3Q終了。 4Q 星翔は、2-3ゾーンからマンツーマンディフェンスに変えてスタートする。序盤、星翔は#7趙のインターセプトやリバウンドで流れをつかみ、星翔#8元、#11藤井、#4中嶋などの2Pシュート3連続で追い上げを見せる。その後、星翔はリバウンドからの速攻、延学はミドルシュートで加点し一進一退の展開が続くも点差は変わらず、星翔65対91延学で、延岡学園高校の勝利となった。

No.	記者	古賀 久徳	(所属)	鹿児島県バスケットボール協会
-----	----	-------	------	----------------

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子1回戦

福岡第一 76

(福岡2位) ○

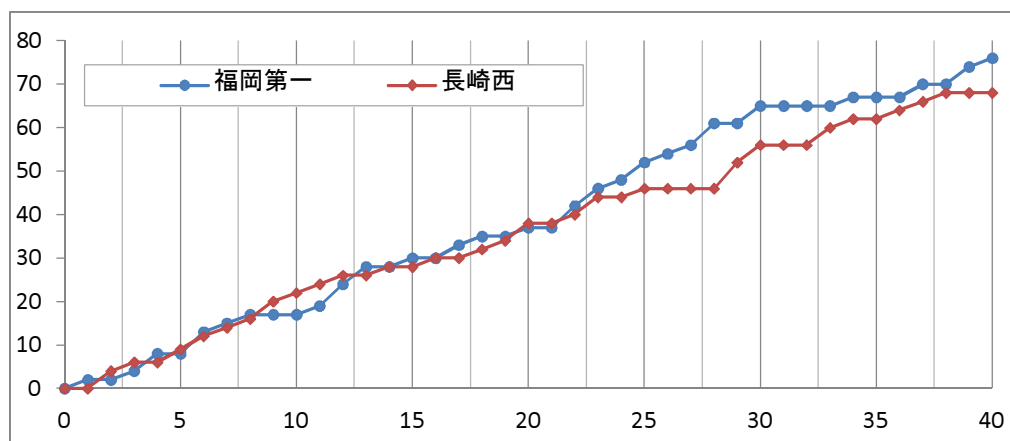
68 長崎西

● (長崎1位)

主審 川原禎仁

副審 東山崎雄三

No. 20C4 日時: 2015年6月20日(土) 13:30 会場: 鹿児島アリーナC4



福岡第一

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 武藤 海斗 (C)	8	1	1	3	1
5	竹内 大冴	2	0	1	0	1
6	草野 亜怜	0	0	0	0	0
7	張 効広	4	0	2	0	1
8	* 河野 佑太	2	0	1	0	2
9	野中 貴仁	-	-	-	-	-
10	土居 光	0	0	0	0	1
11	山邊 千春	-	-	-	-	-
12	* 蔡 錦鈺	23	0	11	1	3
13	* 重富 友希	27	0	13	1	2
14	* 重富 周希	10	1	3	1	1
15	松本 礼太	0	0	0	0	1
コーチ 井手口 孝						
合計		76	2	32	6	13

長崎西

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 森山 湧斗 (C)	8	0	2	4	2
5	* 松崎 颯馬	6	0	3	0	4
6	* 後山 智樹	30	1	12	3	1
7	* 口石 剛大	12	0	6	0	0
8	* 池田 健人	5	0	2	1	3
9	岡本 龍郎	0	0	0	0	0
10	池田 琳苑	0	0	0	0	0
11	宮嶋 大知	0	0	0	0	0
12	高原 芳槻	4	0	2	0	0
13	中山 侑樹	3	1	0	0	2
14	宮川 雄大	0	0	0	0	0
15	岩本 大地	0	0	0	0	1
コーチ 埴生 浩二						
合計		68	2	27	8	13

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

1st 両チームともマンツーマンで始まる。福岡第一#13重富(友)がパスカットから、そのまま速攻で先制する。福岡第一は高身長#12蔡をスクリーナーにピック&ロールを軸に攻めるが、厳しいDFIに苦戦する。一方長崎西は早いパス回しやミートからの1対1などを軸に攻め17-22で終える。2nd長崎西は#6後山がリバウンドからゴール下を決めたり#5松崎のドライブで19-26とするが、福岡第一#14重富(周)が3Pを決め22-26とし突き放しを許さない。ここで調子を上げてきた福岡第一#12蔡がゴール下を量産し35-30と逆転し、長崎西はタイムアウトをとることになる。その後DFを立て直した長崎西は#6後山や#4森山がドライブをしかけファウルをもらいつつ得点をあげ再び逆転し37-38でハーフタイムとなる。3rdになり、調子をあげていた福岡第一#12蔡が大活躍をみせる。リバウンドにゴール下に止まらない。56-46と10点差を広げこのピリオドだけで17得点をあげ、最終的に65-56で終えた。4thなんとか4度目の逆転を試みる長崎西は#6後山や#7口石のミドルシュートが連続して決まり65-60とするが、ミスから簡単に速攻を許し、67-60となる。しかしここでまたしても#6後山や#7口石のミドルシュートが決まり、残り2分40秒、70-68と怒涛の追い上げを見せる。ここで存在感を発揮したのは、またしても福岡第一#12蔡だった。冷静にゴール下を沈めると、#4にアシストパスまで送り74-68と引き離した。長崎西はタイムアウトをとるも追撃もここまで、最終スコアは76-68で終了のブザーを迎えた。

No. 記者 和田 秀宣 (所属) 鹿児島県バスケットボール協会

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子1回戦

主審 豆塚 宣男

副審 森田 将史

鹿児島商業 86

(鹿児島1位) ○

27	—	15
20	—	25
21	—	17
18	—	20
—		

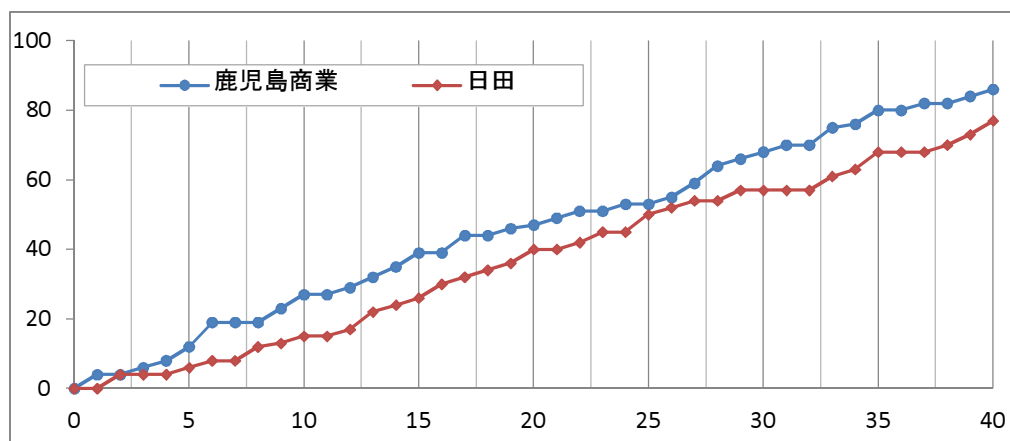
77 日田

● (大分2位)

No. 20D4

日時: 2015年6月20日(土) 13:30

会場: 鹿児島アリーナD4



鹿児島商業

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 山田 安斗夢 (C)	25	0	12	1	3
5	大田 和也	0	0	0	0	1
6	板敷 晃太郎	3	1	0	0	1
7	藤木 慧吾	—	—	—	—	—
8	稲毛 侑聖	0	0	0	0	0
9	寺澤 健汰	—	—	—	—	—
10	小吉 靖太郎	0	0	0	0	0
11	* 小吉 滉太郎	3	0	1	1	2
12	* 川野 大雅	6	0	3	0	1
13	* 熊之細 拳	8	0	4	0	1
14	* 山田 亮平	41	3	13	6	2
15	尾脇 彰	0	0	0	0	1
コーチ 福永 健司						
合計		86	4	33	8	12

日田

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 梅山 竜太 (C)	11	1	3	2	4
5	* 竹内 将希	7	1	1	2	5
6	松下 尚矢	8	2	1	0	2
7	末金 拓海	2	0	1	0	0
8	河野 仁	0	0	0	0	0
9	佐藤 蓮	1	0	0	1	1
10	足立 丞	0	0	0	0	1
11	* 梅木 達貴	8	1	2	1	0
12	松木 真太郎	0	0	0	0	0
13	原田 有人	0	0	0	0	0
14	* 森山 翔太	24	0	10	4	3
15	* 前田 暁人	16	2	5	0	2
コーチ 三ツ廣 莊規						
合計		77	7	23	10	18

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

鹿商、日田ともにマンツーマンでスタート。立ち上がりどちらも硬さが見られ点を伸ばせない。4分すぎ、鹿商#4山田(安)と#14山田(亮)の連続得点を皮切りに鹿商ペースになる。日田は10点差になった6分すぎにタイムアウト。流れを変えたい日田だったが、鹿商は#6の板敷の3Pシュートや#4の山田(安)のドライブで加点する。日田も#15前田のドライブや#14森山のシュートなどで粘る。第1Qは27-15で鹿商がリード。

第2Qも互いにマンツーマンでスタート。日田のチームファウルが多く相手にフリースローのチャンスを与えるも、日田#5竹内が相手のオフェンスファウルを誘い、これにより流れが日田に変わる。#14森山のゴール下や合わせからのシュートや#5竹内の3Pなどで加点し差を詰める。日田は残り2分でタイムアウトをとり積極的なプレーを続ける。しかし鹿商も相手にリードをさせず一進一退の攻防となり、前半を終わって47-40で鹿商のリードで終わる。

第3Qに入っても互いに相手に流れを譲らない。#6松下や#11梅木の3P、センター#14森山のゴール下の加点で追いつきたい日田だが、鹿商の#4山田(安)、#14山田(亮)の強いプレーで連続得点が続く。68-57でこのクォーターを終了。

第4Qに入って鹿商#14山田(亮)の3Pや#12川野の速攻が連続で決まり日田を突き放す。日田も攻めのプレイで#6松下や#4梅北の3Pや#5竹内のドライブで得点しながら最後まで粘ったが、86-77で鹿商の勝利となった。

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 梅山 竜太 (C)	11	1	3	2	4
5	* 竹内 将希	7	1	1	2	5
6	松下 尚矢	8	2	1	0	2
7	末金 拓海	2	0	1	0	0
8	河野 仁	0	0	0	0	0
9	佐藤 蓮	1	0	0	1	1
10	足立 丞	0	0	0	0	1
11	* 梅木 達貴	8	1	2	1	0
12	松木 真太郎	0	0	0	0	0
13	原田 有人	0	0	0	0	0
14	* 森山 翔太	24	0	10	4	3
15	* 前田 暁人	16	2	5	0	2
コーチ 三ツ廣 莊規						
合計		77	7	23	10	18

記者	神園梨絵
----	------

所属	鹿児島県バスケットボール協会
----	----------------

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子2回戦

主審 岩尾 圭治
副審 川島 司

福大大濠 111

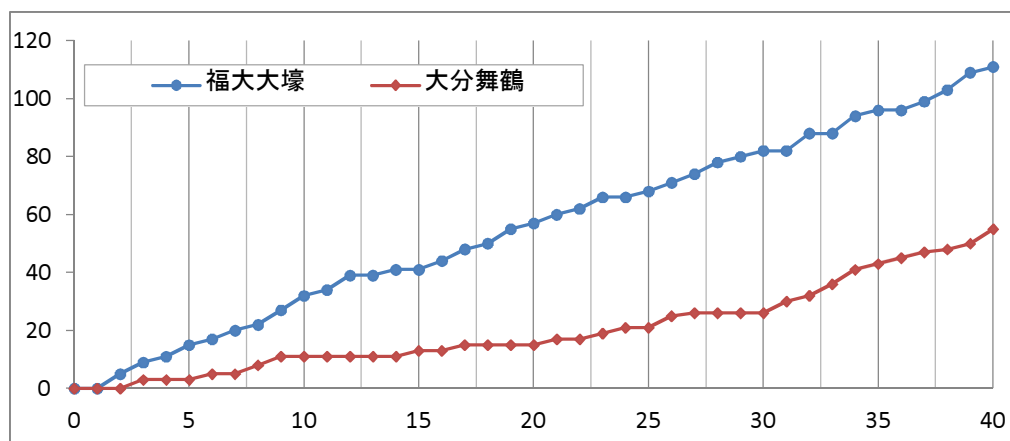
(福岡1位) ○

32	—	11
25	—	4
25	—	11
29	—	29
—		

55 大分舞鶴

● (大分1位)

No. 20A6 日時: 2015年6月20日(土) 16:30 会場: 鹿児島アリーナA6



福大大濠

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 牧 隼利 (C)	13	0	5	3	0
5	* 西田 優大	15	4	1	1	1
6	* 中村 太地	9	1	3	0	3
7	堀川 裕作	19	0	8	3	0
8	青木 亮	—	—	—	—	—
9	* 増田 啓介	18	0	8	2	0
10	山内 康平	2	0	1	0	0
11	鍵富 太雅	6	0	2	2	1
12	立野 友也	3	1	0	0	1
13	渡嘉敷 直輝	8	1	1	3	0
14	児玉 修	11	1	3	2	2
15	* 井上 宗一郎	7	0	3	1	0
コーチ 片峯 聡太						
合計		111	8	35	17	8

大分舞鶴

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 香川 泰斗 (C)	7	0	3	1	4
5	* スミス 安努隆	14	2	4	0	2
6	石川 智章	2	0	1	0	1
7	佐藤 淳哉	3	0	1	1	1
8	* 大宅 聡樹	3	1	0	0	1
9	長谷川 聖	2	0	1	0	2
10	吉良 知将	3	1	0	0	2
11	* 木下 碧人	11	1	3	2	4
12	泥谷 椋平	—	—	—	—	—
13	蠣原 弘太郎	0	0	0	0	0
14	* 赤嶺 充希	10	0	5	0	2
15	草本 凱斗	0	0	0	0	0
コーチ 齋藤 哲也						
合計		55	5	18	4	19

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

両チームともマンツーマンディフェンスでのスタート。開始2分、大濠は#15井上、#4牧のゴール下シュートや#9増田の速攻などで得点を重ね、9-0とリードする。舞鶴は1回目のタイムアウトを要求、#8大宅の3Pシュートで波に乗りたところだが、大濠の厚いディフェンスに阻まれ、得点を重ねることができない。それでも#5スミス、#11木下の3Pシュートで何とか二桁に得点を乗せるが大濠は着実に得点を重ね32-11とリード。第2ペリオド開始4分間、舞鶴は無得点、2回目のタイムアウトを取り、ディフェンスを3-2のハーフコートゾーンに変えて何とかリズムに乗りたい。#14赤嶺が2本2Pシュートを決めるが、大濠の#14児玉の3Pシュートや#7堀川の2Pシュートなどで得点を積み重ね、57-15とリードを広げる。第3ペリオド開始直後、舞鶴は#11木下のシュートが決まり、#4香川、#5スミスも2Pシュートを決め、波に乗り始めたところで大濠がタイムアウトを要求。舞鶴もオールコート1-2-2ゾーンで仕掛けるが、大濠は#4牧、#9増田の正確なシュートで84-26と突き放す。第4ペリオド、舞鶴はオールコートでプレッシャーをかけてボールを奪いに行き、#5スミス、#14赤嶺のシュートで得点を重ねる。一方、大濠も3-2ゾーンディフェンスで#7堀川、#15井上の2枚センターの高さを生かしたりリバウンドから速攻などで得点を積み重ね、最後まで安定したシュート力で粘る舞鶴を退けた。

記載者	岩下 さおり	(所属)	鹿児島県バスケットボール協会
-----	--------	------	----------------

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子2回戦

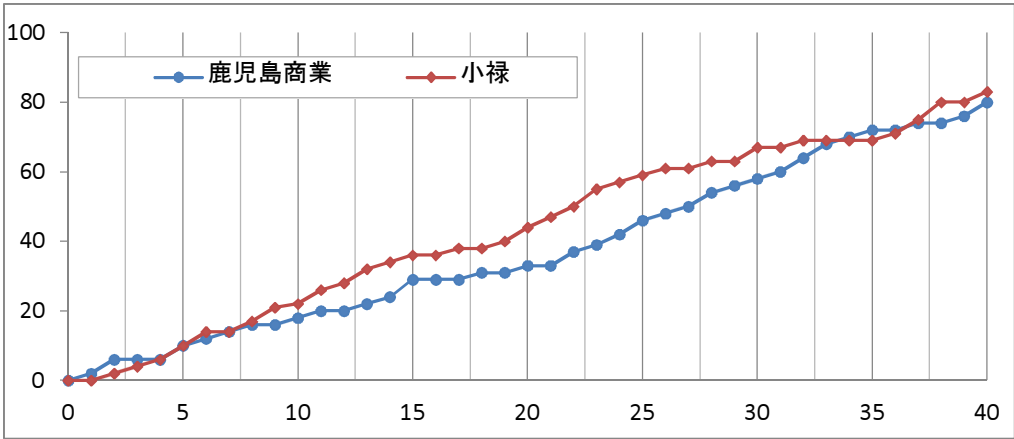
主審 甲木 善徳
副審 小川 隆三

鹿児島商業 80
(鹿児島1位) ●

18 - 22
15 - 22
25 - 23
22 - 16
—

83 小禄
○ (沖縄1位)

No. 20B6 日時: 2015年6月20日(土) 16:30 会場: 鹿児島アリーナB6



鹿児島商業

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 山田 安斗夢 (C)	24	0	12	0	4
5	大田 和也	—	—	—	—	—
6	板敷 晃太郎	0	0	0	0	0
7	藤木 慧吾	—	—	—	—	—
8	稲毛 侑聖	—	—	—	—	—
9	寺澤 健汰	0	0	0	0	0
10	小吉 靖太郎	0	0	0	0	0
11	* 小吉 滉太郎	6	0	3	0	2
12	* 川野 大雅	6	0	3	0	2
13	* 熊之細 拳	14	0	7	0	1
14	* 山田 亮平	30	0	13	4	1
15	尾脇 彰	0	0	0	0	4
コーチ	福永 健司	—	—	—	—	0
合計		80	0	38	4	14

小禄

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 森田 幸之助	7	1	2	0	3
5	金城 雄太	—	—	—	—	—
6	大城 直也	0	0	0	0	0
7	玉城 修平	—	—	—	—	—
8	* 儀間 真	24	5	4	1	0
9	古堅 勝利	—	—	—	—	—
10	比嘉 太	0	0	0	0	0
11	名嘉真 尚人	—	—	—	—	—
12	* 上良 潤起 (C)	12	0	4	4	1
13	* 大城 勝悟	8	0	4	0	0
14	宜志富 朝日	—	—	—	—	—
15	* 池田 祐一	32	0	15	2	4
コーチ	源古 隆	—	—	—	—	0
合計		83	6	29	7	8

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

両チームマンツーマンDefでスタート。鹿商#13熊之細、#11小吉の得点など6-0で好スタートをきった鹿商に対し、小禄はタイムアウト。お互いトランジションの意識が高く、休まず攻めるスタイルである。鹿商は#4山田(安)のポイント、小禄は#15池田を起点とした早いパス回しの得点で、第1Qは18-22で小禄4点リードで終了。第2Q立ち上がりから#15池田の連続得点、#8儀間の連続3Pで一気に10点差まで広げる。残り5分、小禄がタイムアウトをとるが、鹿商#14山田(亮)の連続得点、バスカンで勢いに乗るかに思われた鹿商だが、小禄#15池田が味方に合わせて得点。流れを引き戻せない鹿商は残り4分タイムアウトを請求。Defを3-2ゾーンに変化させる。これが小禄のOffリズムを狂わせたが、逆にDefを強めた小禄が#13大城、#15池田の連続得点で33-44の11点リードで前半を終了した。後半、鹿商はゾーンDefを継続、小禄はゾーンにしっかり対処しており、#8儀間の3Pもことごとく決まり、16点差をつける。鹿商も#14山田(亮)の得点などで9点差まで詰める。残り3分をきって小禄のタイムアウト。マンツーマンに戻した鹿商に対し、小禄は巧みにスイッチを繰り返すDefでリズムをつくる。しかし、鹿商も#14山田(亮)、最後は#4山田(安)のバックステップからのシュートが決まり58-67の9点差、小禄リードのまま第3Qを終了。最終第4Q、再び3-2ゾーンに戻した鹿商がリズムをつくり、鹿商#4山田(安)、#14山田(亮)の連続得点で残り5分、ついに70-69と逆転する。小禄タイムアウトの後、小禄#8儀間、#15池田の得点で74-75と再逆転。残り2分、小禄#4森田の3Pなどで鹿商をつきはなす。残り31秒で鹿商が2点差まで詰め寄る。小禄の最後のタイムアウト、フリースローで3点差まで広げ、鹿商#4山田(安)の3Pも決まらず、80-83で小禄が3点差で逃げ切った。

記事者 佐々木 徹 (所属) 鹿児島県バスケットボール協会

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子2回戦

主審 宇地原 尚彦

副審 原田 拓朗

福岡第一 64

(福岡2位) ●

15	—	24
19	—	24
18	—	15
12	—	22
—		

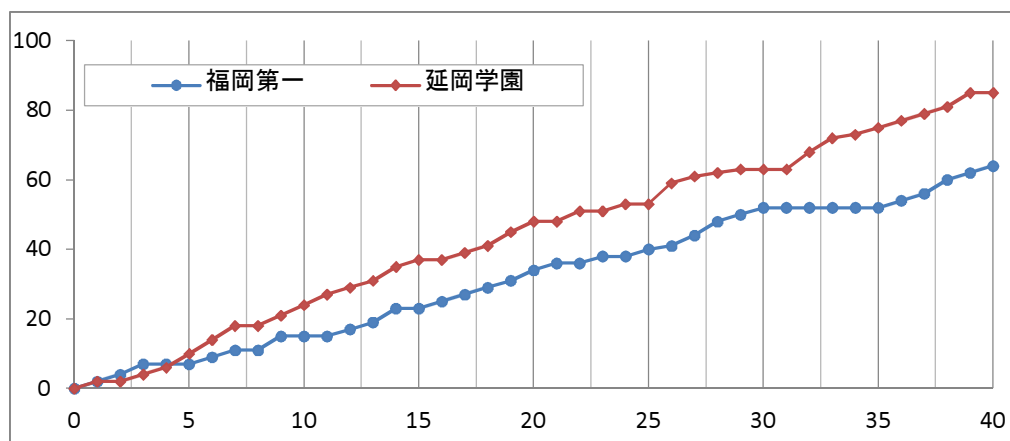
85 延岡学園

○ (宮崎1位)

No. 20C6

日時: 2015年6月20日(土) 16:30

会場: 鹿児島アリーナC6



福岡第一

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 武藤 海斗 (C)	6	2	0	0	5
5	竹内 大冴	—	—	—	—	—
6	草野 亜怜	—	—	—	—	—
7	張 効広	0	0	0	0	1
8	* 河野 佑太	8	0	4	0	4
9	野中 貴仁	2	0	1	0	0
10	土居 光	0	0	0	0	0
11	山邊 千春	0	0	0	0	0
12	* 蔡 錦鈺	18	0	7	4	2
13	* 重富 友希	22	0	10	2	3
14	* 重富 周希	8	0	4	0	5
15	松本 礼太	—	—	—	—	—
コーチ 井手口 孝						
合計		64	2	26	6	20

延岡学園

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 石田 裕太郎 (C)	21	2	5	5	1
5	シェツラ ママドウ	0	0	0	0	0
6	* 山田 颯士郎	6	0	2	2	3
7	池浦 健太郎	—	—	—	—	—
8	* 田上 元己	4	0	1	2	3
9	加シ 竜平 ショーン	2	0	1	0	1
10	染川 昂	—	—	—	—	—
11	水谷 槇之介	3	0	1	1	3
12	五代 雅己	5	1	1	0	2
13	渡辺 新	1	0	0	1	0
14	* 榎田 拓真	19	0	9	1	2
15	* ディオコップ マム シェツハイブラヒマ	24	0	10	4	1
コーチ 川添 裕司						
合計		85	3	30	16	16

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

先手をとったのは福岡第一。#13重富(友)の速攻や#4武藤の3Pシュートなどで7-2とリードする。しかし、4分過ぎ#12蔡が2回目のファウルでベンチへ下がると流れは延学へ。#15やママドウや#14榎田がゴール下で活躍し24-15と延学がリードして1Q終了。2Qも立ち上がりから延学#15ママドウがゴール下を支配する。そして福岡第一のゾーンディフェンスに対しては#6山田や#14榎田がドリブルで突破する。福岡第一も#12蔡がインサイドで頑張り、重富兄弟の速攻等で追いかけるが流れを変えることはできず、逆に48-34と延学がリードを広げて前半終了。後半になっても延学の勢いは止まらない。対する福岡第一はオールコートのディフェンスに変え、あたりを強めるが4分過ぎに#14重富(周)がファウルアウトすると流れは完全に延学ペースになる。しかし、福岡第一は6分過ぎに#4武藤の3Pシュートを皮切りに3連続ゴールを奪うなどして63-52と追い上げを見せて3Q終了。ところが、4Qに入ると福岡第一のオフェンスが止まり5分間ノーゴール。ディフェンスで何とか流れを変えたいが延学は力強いドリブルとパスワークで切り崩し85-64で延学が逃げ切った。

記載者	徳田 達治	(所属)	鹿児島県バスケットボール協会
-----	-------	------	----------------

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子2回戦

加治木工業 71

(鹿児島2位) ●

14	—	33
25	—	17
19	—	28
13	—	31
—		

109 九州学院

○ (熊本1位)

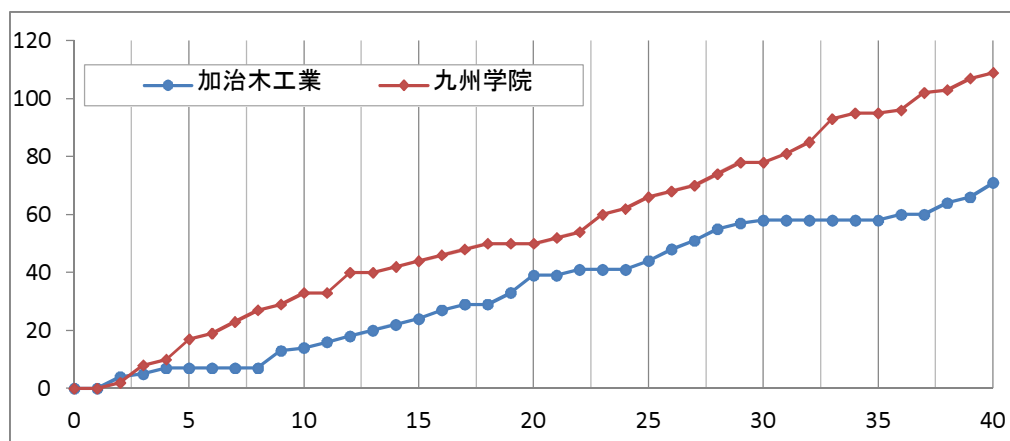
主審 安藤 剛

副審 比嘉 涼太

No. 20D6

日時: 2015年6月20日(土) 16:30

会場: 鹿児島アリーナD6



加治木工業

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 川ノ上 祐旗 (C)	11	1	3	2	3
5	* 上野 真志	6	0	3	0	2
6	松下 敦信	2	0	1	0	0
7	堂脇 大輔	—	—	—	—	—
8	白濱 隆成	—	—	—	—	—
9	福盛 雄太	4	0	2	0	1
10	* 金丸 恭平	16	0	7	2	3
11	立山 瑠生	0	0	0	0	2
12	萩原 聖也	2	0	0	2	3
13	* 家村 仁	8	0	4	0	0
14	* 河井 竜	22	0	10	2	4
15	中村 源太	—	—	—	—	—
コーチ 鈴木 亮一						
合計		71	1	30	8	18

九州学院

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 古家 凜	6	0	3	0	1
5	藤田 溪舟	2	0	1	0	2
6	* 永塘 哲生 (C)	20	2	7	0	2
7	川田 大起	8	0	2	4	2
8	* 野口 龍太郎	14	2	3	2	1
9	西嶋 駿輝	6	1	1	1	2
10	跡部 涼真	0	0	0	0	0
11	園部 毅	2	0	1	0	1
12	中村 隆志	6	0	2	2	1
13	前田 翔	16	1	6	1	3
14	* 西山 泰加	19	0	9	1	2
15	* 高野 雄登	10	0	4	2	2
コーチ 田中洋平						
合計		109	6	39	13	19

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

両チームともマンツーマンでスタート。開始3分後に九州学院#6永塘のアシストから#15高野のゴール下でのシュートがバスケットカウントで決まる。その後、九州学院は#7川田や#8野口の速攻や#4古家のアシストから#15高野のシュートが2本きまるなど一気に引き離し33-14でQ1が終了。

Q2も両チームともマンツーマンでスタート。九州学院#6永塘と#13前田のスローインからのゴール下シュートが2本、#12中村、#8野口のリバウンドからのシュートが決まるなど序盤は九州学院優勢。たまた加工業はタイムアウトをとる。その後、加工業は#13家村のミドルシュート、#5上野の3Pやミドルシュート、#14河井の速攻などを連続で決め、流れは一気に加工業へ変わる。また、加工業は強いディフェンスで相手を抑え#14河井、#4川ノ上が最後にシュートを決め11点差まで追いついた。Q2は50-39で九州学院リードでハーフタイムへ入る。

Q3加工業はマンツーマン。一方、九州学院はゾーンディフェンスでスタートする。加工業はオフェンスに苦慮し、その間に九州学院は#14西山がゴール下やドライブからのシュートを7本以上決め、78-58で九州学院リードで終了。

Q4も加工業マンツーマン、九州学院ゾーンディフェンスでスタート。加工業は得点が入らない苦しい状況が長く続く。九州学院は変わらず早い攻めで#13前田がドライブ、3P、ミドルシュートなどが立て続けて決まる。加工業も#14河井がゴール下やミドルシュートを決め最後まで粘ったが、109-71で九州学院が勝利した。

記載者

神園梨絵

(所属) 鹿児島県バスケットボール協会

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子準決勝

福大大濠 94

(福岡1位) ○

62 九州学院

● (熊本1位)

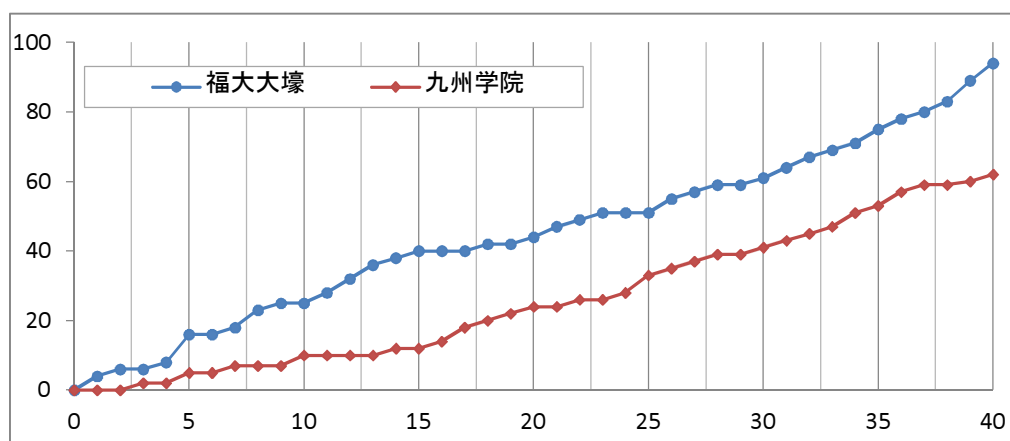
主審 松本 究

副審 川原 禎仁

副審 比嘉 涼太

25	—	10
19	—	14
17	—	17
33	—	21
—		

No. 21A2 日時: 2015年6月21日(日) 10:30 会場: 鹿児島アリーナA2



福大大濠

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 牧 隼利 (C)	12	0	6	0	1
5	* 西田 優大	10	0	5	0	1
6	* 中村 太地	7	1	2	0	2
7	堀川 裕作	7	0	3	1	1
8	青木 亮	—	—	—	—	—
9	* 増田 啓介	14	0	6	2	1
10	山内 康平	3	1	0	0	2
11	鍵富 太雅	7	0	3	1	0
12	立野 友也	4	0	1	2	0
13	渡嘉敷 直輝	9	0	3	3	3
14	* 児玉 修	21	3	5	2	3
15	井上 宗一郎	—	—	—	—	—
コーチ	片峯 聡太					
合計		94	5	34	11	14

九州学院

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 古家 凜	10	0	5	0	1
5	藤田 溪舟	2	0	1	0	0
6	* 永塘 哲生 (C)	6	0	3	0	1
7	川田 大起	2	0	1	0	3
8	* 野口 龍太郎	30	2	12	0	2
9	西嶋 駿輝	0	0	0	0	0
10	跡部 涼真	—	—	—	—	—
11	園部 毅	—	—	—	—	—
12	中村 隆志	2	0	1	0	1
13	前田 翔	1	0	0	1	2
14	* 西山 泰加	7	1	1	2	1
15	* 高野 雄登	2	0	1	0	4
コーチ	田中洋平					
合計		62	3	25	3	15

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

1Q, 両チームともにマン・ツー・マンディフェンス。高さに勝る大濠は、#4牧が先制するとオフェンスリバウンドからの速い攻めで、#9増田、#5西田が連続して得点。その後も#14児玉の3P等で加点し、開始4分で11-2とリードを広げる。一方、#4古家のジャンプシュート1本に抑えられていた九州学院は、ここで1回目のタイムアウトを取ると、早めのピックアップで大濠に対するプレッシャーを強めるとともに、#8野口の3P等で応戦するが、大濠は#5西田のゴール下や#14児玉の3P等で更に得点を重ね、25-10とリードして1Qを終える。

2Q, 大濠は#6中村が3Pを決めると、その後も#11鍵富のインサイド等で重ねリードを広げる。一方、九州学院は、フロアバランスをしっかりとった丁寧なオフェンスを続け、#6永塘、#4古家のジャンプシュート等で得点。44-24, 福大大濠のリードで前半を終える。

3Q, 大濠は立ち上がり、#4牧、#9増田が得点を重ね、51-26とリードを広げる。対する九州学院はダブルチームで大濠のボールマンにプレッシャーをかけるとともに、#8野口の3P等で53-35と差を詰めていく。その後は一進一退の攻防が続き、61-41で3Qを終える。

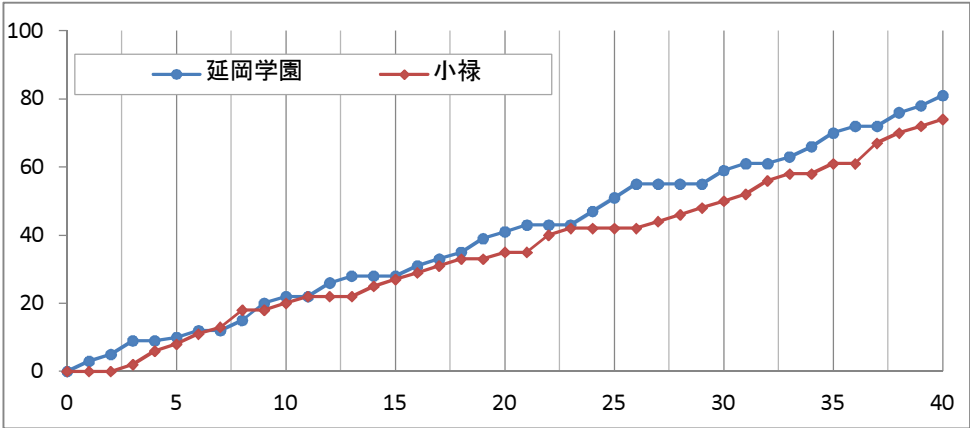
4Q, 九州学院は#4古家、#8野口が積極的な1on1から得点すると、大濠は#14児玉の3Pや#6中村のインサイドで応戦し、追い上げを許さない。中盤、九州学院は、ボールマンに対するプレッシャーを強め積極的にバスケットを狙うとともに、早めのシュートで追い上げを図るが、大濠は慌てることなく、#10山内の3Pや、#7堀川のインサイド等で得点を重ね、94-62で終了。大濠が勝利を収めた。

No.	記者	山下広哲	(所属)	鹿児島県バスケットボール協会
-----	----	------	------	----------------

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子準決勝		延岡学園 81	(宮崎1位) ○	74 小禄	● (沖縄1位)
主審	岩尾 圭治				
副審	大久保 好純				
副審	原田 拓朗				

No. 21C2 日時: 2015年6月21日(日) 10:30 会場: 鹿児島アリーナC2



延岡学園

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 石田 裕太郎 (C)	9	1	2	2	3
5	シェツラ ママドゥ	-	-	-	-	-
6	* 山田 颯士郎	6	2	0	0	3
7	池浦 健太郎	-	-	-	-	-
8	* 田上 元己	1	0	0	1	0
9	カシ 竜平 ショーン	-	-	-	-	-
10	染川 昂	-	-	-	-	-
11	水谷 慎之介	0	0	0	0	1
12	五代 雅己	8	0	4	0	2
13	渡辺 新	4	0	2	0	0
14	* 榎田 拓真	15	1	6	0	2
15	* ディオップ マム シェツハ イブラヒマ	38	0	16	6	2
コーチ 川添 裕司						
合計		81	4	30	9	13

小禄

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 森田 幸之助	5	1	1	0	4
5	金城 雄太	2	0	1	0	3
6	大城 直也	3	0	1	1	3
7	玉城 修平	-	-	-	-	-
8	* 儀間 真	8	0	3	2	1
9	古堅 勝利	-	-	-	-	-
10	比嘉 太	-	-	-	-	-
11	名嘉真 尚人	-	-	-	-	-
12	* 上良 潤起	24	0	11	2	4
13	* 大城 勝悟	13	3	2	0	1
14	宜志富 朝日	-	-	-	-	-
15	* 池田 祐一 (C)	19	1	8	0	4
コーチ 源古 隆						
合計		74	5	27	5	20

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

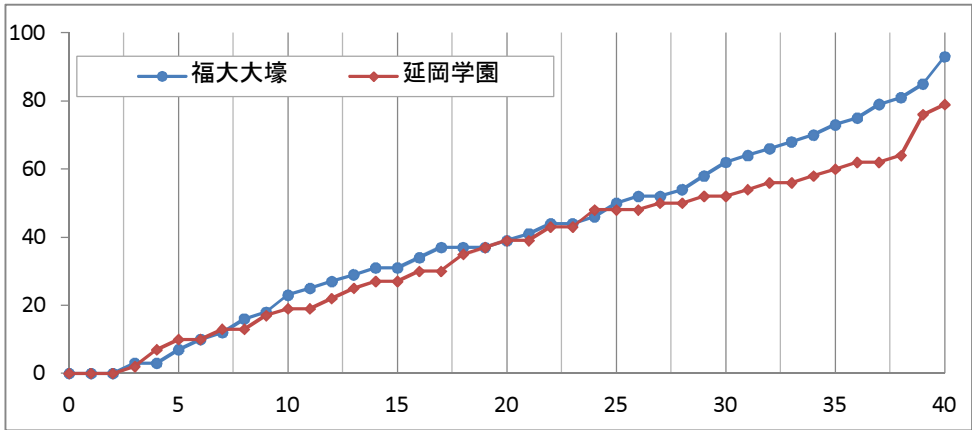
第1ピリオド。延学は立ち上がり続けざまに#15イブラヒマのカウント1スローが成功しリードを奪う。延学7点リードとなったところで小禄がタイムアウト。再開後は小禄がリズムをつかみ一旦は逆転するが、延学2点リードで終了。第2ピリオドは小禄が先手を取り追いつくが、延学は連続得点で6点差と突き放す。延学はIon1やオフェンスリバウンドからの得点を奪い、小禄はドライブから延学#15イブラヒマがヘルプに出たところをうまく合わせて得点を重ね、一進一退の展開で延学6点リードのまま前半終了。第3ピリオド立ち上がり小禄は#4森田の3ポイントを皮切りに連続得点で一気に1点差まで追い上げる。しかし#4森田が4つめのファウルでベンチに下がって、ややオフェンスが単調になり、残り5分で9点差となったところで後半1回目のタイムアウト。再開後も延学#15イブラヒマの連続ゴールでこの試合最大の13点差となるが、小禄は#12上良と#15池田のドライブから得点し、粘る小禄が9点ビハインドで最終ピリオドへ。第4ピリオドは小禄がIon1の合わせとブレイクで得点を重ね、5点差まで詰め寄る。勢いに乗りたい小禄のオールコートマンツーマンを延学は落ち着いてかわし、#6山田のスリーポイントで追い上げを許さない。残り5分から小禄にファウルが目立ち始めるが、延学のフリースローが成功せず点差は開かない。残り3分で延学がこの試合初めてのタイムアウト。再開後、延学は#15イブラヒマがリング下を決め、小禄は#13大城(勝)が3ポイントで返し4点差となる。残り2分を切り、延学が相手のターンオーバーから得たチャンスやオフェンスリバウンドを確実にものにし、食い下がる小禄を押さえ81-74で逃げ切った。

記事者 森園 隆志 (所属) 鹿児島県バスケットボール協会

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子決勝	福大大濠 93	79 延岡学園
主審 宇地原 尚彦	(福岡1位) ○	● (宮崎1位)
副審 山崎 徳彦		
副審 川島 司		

No. 21A4 日時: 2015年6月21日(日) 13:30 会場: 鹿児島アリーナA4



福大大濠

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 牧 隼利 (C)	14	0	7	0	1
5	* 西田 優大	25	5	4	2	1
6	* 中村 太地	26	0	10	6	2
7	堀川 裕作	0	0	0	0	0
8	青木 亮	4	0	1	2	3
9	* 増田 啓介	18	1	6	3	4
10	山内 康平	-	-	-	-	-
11	鍵富 太雅	0	0	0	0	0
12	立野 友也	-	-	-	-	-
13	渡嘉敷 直輝	-	-	-	-	-
14	児玉 修	4	0	2	0	0
15	* 井上 宗一郎	2	0	1	0	1
コーチ	片峯 聡太					
合計		93	6	31	13	12

延岡学園

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 石田 裕太郎 (C)	16	4	1	2	3
5	シェツラ ママドウ	0	0	0	0	0
6	* 山田 颯士郎	11	3	1	0	5
7	池浦 健太郎	-	-	-	-	-
8	* 田上 元己	2	0	1	0	0
9	カシ 竜平 ショーン	-	-	-	-	-
10	染川 昂	-	-	-	-	-
11	水谷 槇之介	0	0	0	0	1
12	五代 雅己	10	0	4	2	5
13	渡辺 新	2	0	1	0	1
14	* 榎田 拓真	22	5	3	1	1
15	* ディオップ マム シェツハ イブラヒマ	16	0	7	2	2
コーチ	川添 裕司					
合計		79	12	18	7	18

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

第1P, 両チーム共にブロックショットを見せるなど、高さを活かしたディフェンスを攻めあぐね、2分近く無得点のまま経過する。大濠が#5西田の3Pシュートで先制し、#6中村のシュートで引き離しにかかるが、延岡は#15ディオップが高さを活かして反撃。終了間際に#5西田が3Pシュートを決めた大濠が大濠23-19延岡とリードして第1Pを終える。
第2Pも両者一進一退の展開となるが、6分、大濠は#6中村がバスケットカウントのフリースローを決めて大濠37-30延岡とリードを広げる。対する延岡は#6山田の3Pシュートなどで対抗、#14榎田のドライブなどで追いつき大濠39-39延岡と同点で前半を終了する。
後半に入り3分、延岡は#6山田の連続ゴールで大濠44-48延岡とリードを奪う。ここで大濠は#15井上の速攻などで逆転に成功すると、残り3分を切ってから#9増田、#14児玉のゴールなどでじわじわと差を広げる。第3P終了で大濠62-52延岡と大濠10点リードで第4Pを迎える。
第4Pに入り#13渡辺らの得点で迫る延岡に対し、大濠は#4牧が連続6得点、大濠79-62延岡とリードが広がる。延岡は#14榎田の3Pシュートや、ファールゲームで粘りを見せ、残り2分を切り#12五代のフリースローが決まって大濠84-76延岡と8点差まで詰める。ここで大濠は#6中村、#9増田などがフリースローを確実に決め、点差を保ち、延岡の追撃を振りきった。結局大濠93-79延岡で福岡大学附属大濠高校が勝利、3年連続26回目の優勝を飾った。

平成27年度 第68回 全九州高等学校バスケットボール競技大会

男子シード決定戦

主審 甲木 善徳
副審 柿原 実
副審 寺田 祥

九州学院 78

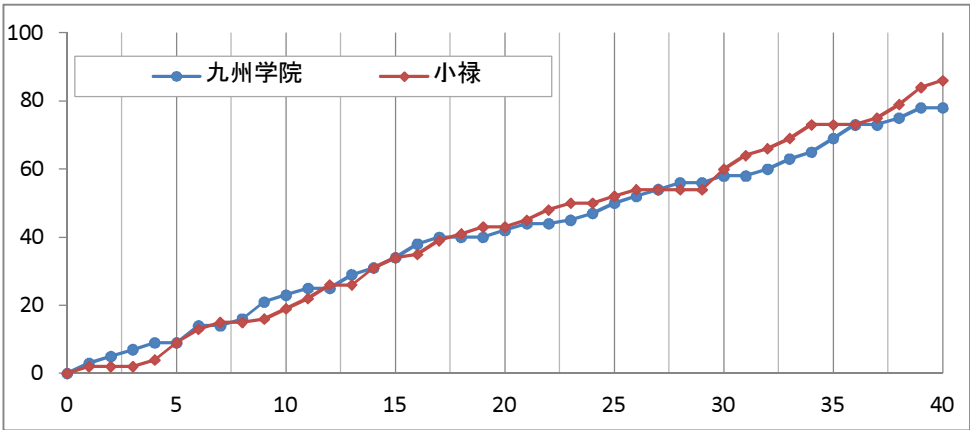
(熊本1位)

23 - 19
19 - 24
16 - 17
20 - 26
—

86 小禄

○ (沖縄1位)

No. 21C4 日時: 2015年6月21日(日) 13:30 会場: 鹿児島アリーナC4



九州学院

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	古家 凜	—	—	—	—	—
5	藤田 溪舟	0	0	0	0	2
6	* 永塘 哲生 (C)	18	1	7	1	1
7	* 川田 大起	6	0	3	0	3
8	* 野口 龍太郎	29	1	11	4	4
9	西嶋 駿輝	0	0	0	0	0
10	跡部 涼真	—	—	—	—	—
11	園部 毅	—	—	—	—	—
12	中村 隆志	—	—	—	—	—
13	前田 翔	0	0	0	0	2
14	* 西山 泰加	21	2	7	1	0
15	* 高野 雄登	4	0	2	0	5
コーチ 田中洋平						
合計		78	4	30	6	17

小禄

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F
4	* 森田 幸之助	9	1	2	2	1
5	金城 雄太	0	0	0	0	0
6	大城 直也	2	0	1	0	0
7	玉城 修平	—	—	—	—	—
8	* 儀間 真	17	4	2	1	2
9	古堅 勝利	—	—	—	—	—
10	* 比嘉 太	6	0	3	0	0
11	名嘉真 尚人	—	—	—	—	—
12	上良 潤起	6	0	2	2	3
13	* 大城 勝悟	24	4	6	0	2
14	宜志富 朝日	—	—	—	—	—
15	* 池田 祐一 (C)	22	0	8	6	4
コーチ 源古 隆						
合計		86	9	24	11	12

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

1Q, 互いにDFはマンツーマンでスタート。先制点は九州学院#14西山の3Pで始まる。一方小禄も#13大城がドライブから得点する。その後九州学院は#8野口#14西山が、小禄は#15池田#10比嘉が得点を重ね互いに譲らない攻防が続く。終了間際、九州学院#7川田がドライブから得点し23-19九州学院のリードで終了。2Q九州学院は#8野口のリバウンドシュート、3Pシュートなどで得点を挙げる。一方小禄は#13大城を中心に得点を重ねる。残り2分小禄が#12上良#4森田の速効で連続得点し、40-41と逆転したところで九州学院はタイムアウト。その後は小禄#13大城がドライブからシュート、九州学院#6永塘がミドルシュートを決め42-43小禄リードで前半終了。3Q, 九州学院はDFで積極的にプレッシャーをかけるが、小禄は#13大城の3P、#15池田が速効で得点を挙げ5点リードする。しかし九州学院は#8野口のバスケットカウントをきっかけに、#6永塘が速効で得点し一気に逆転し58-54とする。ここで小禄は#8儀間が2連続で3Pを決め再び逆転する。58-60の小禄リードで3Qを終える。4Q開始1分、小禄#15池田がフリースローから連続で得点し60-66小禄がリードしたところで九州学院はタイムアウト。タイムアウト明け、九州学院は#6永塘が3Pを決めるが、小禄も#13大城が3Pを決め返す。一進一退の攻防が続く中、九学#14西山のミドルシュートをきっかけに#7川田#8野口が連続で得点し73-73の同点とする。しかし小禄は逆転を許さない。#15池田がリバウンドシュート、バスケットカウントと連続で得点し、残り1分75-82小禄が7点リードとしたところで九州学院タイムアウト。九州学院は#14西山が3Pを決めるが、最後は小禄#12上良のドライブから#15池田が合わせて得点し追撃を許さない。ここで試合終了。最終スコア78-86で小禄が勝利した。

記載者 杉元良成 (所属) 鹿児島県バスケットボール協会